

通学合宿のススメ

I 通学合宿とは

通学合宿というプログラムは、子どもたちが地域の自治会館や公民館などで、一定期間寝泊まりしながら学校に通う取組です。

食事や洗濯など、自分たちの身の回りの日常生活に関わることは、子どもたち自らが行います。この活動を地域の青年や大人が支えることは、子どもを中心にすえた地域づくりの、よいきっかけにもなります。



II 通学合宿のねらい

通学合宿のねらいは、物質的な豊かさの中で、親に依存して暮らす子どもたちに共同生活の機会を与え、自らの手による衣・食・住の生活体験を通して生活技能を体得するとともに、お互いの立場や役割を理解し、協力し合っ
てよりよく生活することができる能力を高めようとするところにあります。

ねらい 1

長期間、共同生活を送ることを通して、生活する技能や自立心を高めます。

ねらい 2

家族に頼りきりになりがちな食事作りや、掃除・洗濯といった基本的な生活に関わることを、子どもたちが自分ですることによって、家庭や家族の大切さに気づく機会となります。

ねらい 3

地域の様々な方に関わっていただくことにより、子どもたちと地域の方との結びつきを強めます。また、地域の方々の青少年健全育成への関心を高めます。

Ⅲ 多彩なプログラム展開

通学合宿のプログラムとして、日常生活の延長という考えから食事・洗濯・掃除・入浴といった「生活」そのものが考えられます。

その他にも、ねらいによっては自然体験や高校生・高齢者を巻き込んだ異年齢・異世代との交流もあります。

また、地域の伝統文化・芸能の継承を目的に実施するなど、各地域の実情に合わせて様々な形で実施することが可能です。

Ⅳ 通学合宿のポイント

宿泊場所：公民館など地域の拠点となる場所が最適。

期 間：理想的には1週間程度。
初回は2泊3日程度からはじめ、次第に増やしていく。

対象学年：学校で宿泊体験を実施する小学校4年生～6年生
慣れてきたら徐々に年齢を下げて異年齢集団を組織することも可能。

対象人数：20人程度が最適。
多くの参加者より、少ない人数で何回も実施した方が効果的。

活動内容：日常生活そのものがプログラム。
(買い出し・炊事・掃除・洗濯・入浴など)

配慮事項：高齢者・子ども会・健康推進員・民生児童委員
高校、大学生ボランティア・地域のボランティア等、多方面の方々の協力が必要。